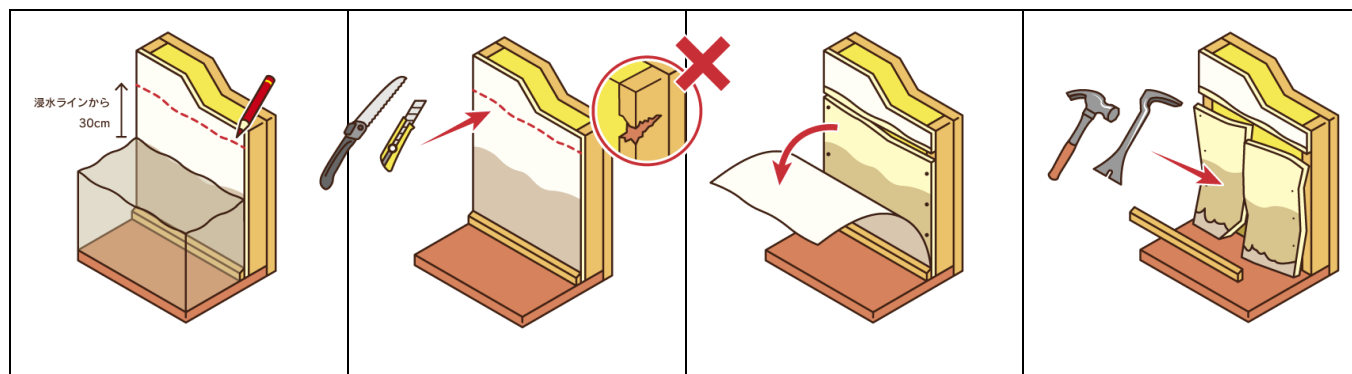


壁部分解体の手順（電動工具をつかわない人向け）

壁に水平の線を引いてから表面の板をきります。壁紙をはがしてから、表面の板や石膏ボード・巾木などをはがします。壁内部に断熱材があれば取り除き、洗浄消毒を行います。

可能であれば、水害後2~4週間以内の作業完了を目指してください。

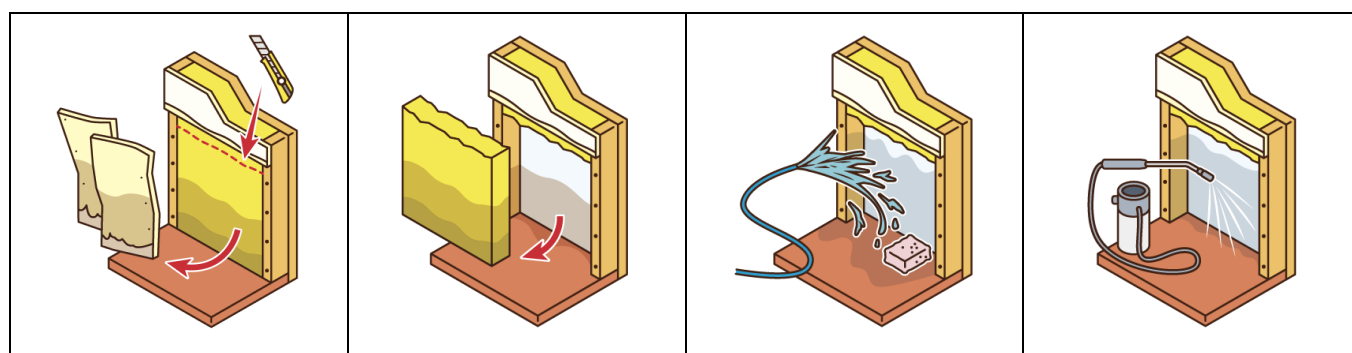


①浸水ラインから30cm上に水平線をひく。鉛筆やペン、墨壺等を使ってください。板を定規代わりにするとまっすぐな水平線がひけます。

②壁表面の石膏ボードや板を水平線に沿って切ります。ノコギリやカッターをつけてください*。表面材の厚さは1cm程度なので、力をいれすぎて柱を切らないこと。

③壁紙があるときはできるだけ剥がします。剥がし残しがあっても問題ありません。水平線より上の壁紙を極力剥がさないこと。

④水平線より下側の石膏ボードや板を剥がす。ハンマーやバール、または手などをつけて剥がしてください**。



⑤断熱材があるときは濡れた部分を取り除いてください。カッターや裁ちハサミを使います。

⑥壁の中の断熱材を取り除きます。濡れていない断熱材を引き抜かないように注意すること。

⑦水とスポンジで洗い流します。もしくはバケツに水を入れて、スポンジで汚れを吸い取るように拭きます。浸水していない部位やコンセントに水をかけないこと。

⑧散布機で消毒液をしっかりと濡れる程度に吹き付けます。回数は一度でよい。浸水していない部位やコンセントに消毒液をかけないこと。

* 壁部分解体に丸ノコを使用すると、キックバックや電気コードの切断など起きる危険性があります。丸ノコを使わないでください。

**石膏ボードや板を壊すことで、空気中の浮遊真菌濃度は非常に高くなります。必ず安全装備(マスク、ゴーグル)を身に付けてください。

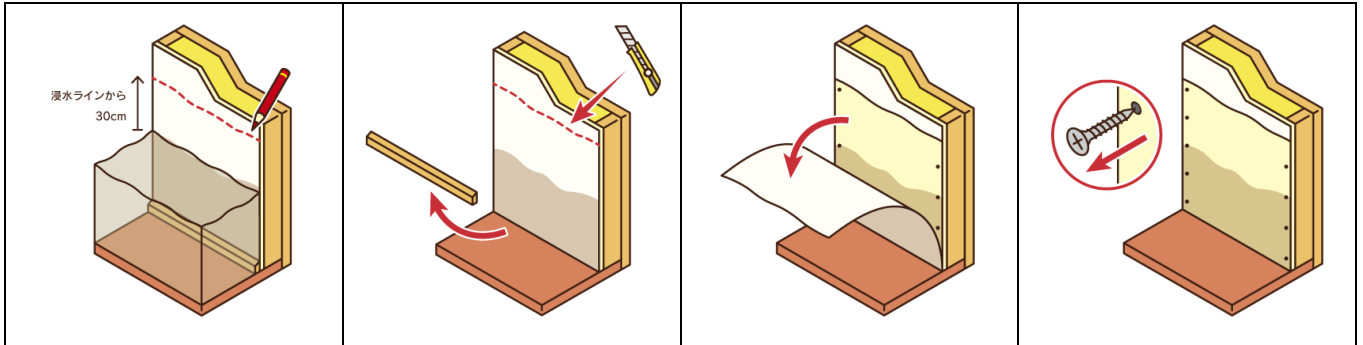
ポイント

表面の石膏ボードや板を水平方向にしっかりと切っておくと、浸水していない箇所を綺麗に保つことができます。

壁部分解体の手順（電動工具をつかう人向け）

壁に水平の線を引いてから表面の板をきります。壁紙をはがしてから、表面の板や石膏ボード・巾木などをはがします。壁内部に断熱材があれば取り除き、洗浄消毒を行います。

水害後2~4週間以内の作業完了を目指してください。

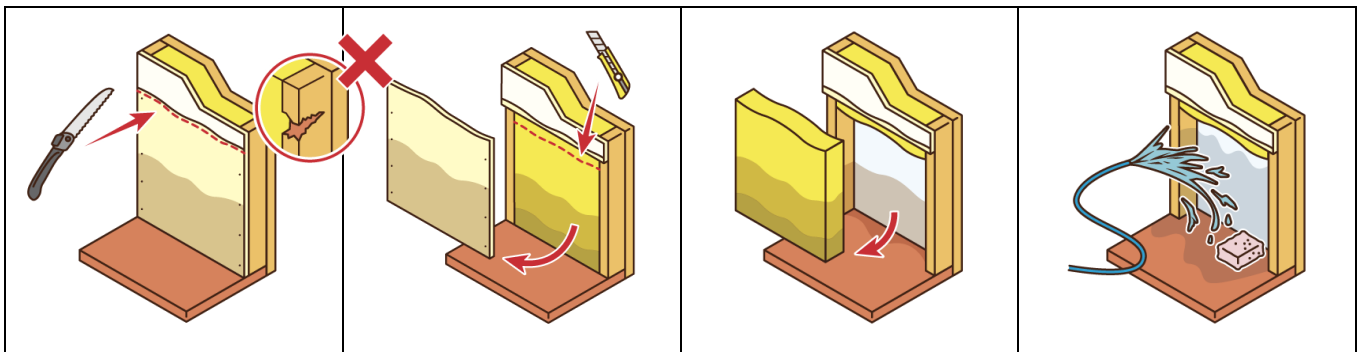


①浸水ラインから30cm上に水平線をひく。鉛筆や墨壺等を使います。

②水平線に沿って壁紙をきります。もしくは⑤の作業を行っても構いません。また巾木を取ってください。カッターやノコギリ、電動ノコギリ、マルチツールを使います*。

③壁紙があるときはできるだけ剥がします。多少剥がし残しがあっても問題ありません。水平線より上の壁紙を極力剥がさないこと。

④ビス頭が見つかるなら、可能な限り抜いてください。インパクトドライバーやドリルドライバーを使います。



⑤壁表面の石膏ボードや板を水平線に沿って切ります。ノコギリや電動ノコギリ、端部はマルチツールを使います。力をいれすぎて柱を切らないこと。

⑥断熱材があるときは濡れた部分を取り除いてください。カッターや裁ちハサミを使います。

⑦壁の中の断熱材を取り除きます。濡れていない断熱材を引き抜かないように注意すること。

⑧水とスポンジで洗い流します。もしくはバケツに水を入れて、スポンジで汚れを吸い取るように拭きます。浸水していない部位やコンセントに水をかけないこと。

ポイント
ビスを抜くのは手間がかかりますけれど、石膏ボードが綺麗にはずれます。室内にカビが飛散せず、掃除の時間も減ります。



⑨散布機で消毒液をしっかりと濡れる程度に吹き付けます。回数は一度でよい。浸水していない部位やコンセントに消毒液をかけないこと。